

令和4年度なは市民協働大学だよ！



第3回講座「コロナ禍でのチャレンジ！防災・福祉の地域づくり」

9月21日に、なは市民協働大学3回目を実施しました。今回は、繁多川地域計画の地域づくり（防災・福祉）がテーマで、講師の繁多川公民館の南館長と地域包括支援センター繁多川の濱川所長は「住民同士が繋がっていることが地域づくりの土台になっています。ただし、地域づくりは住民と「楽しめること」が大切。規模が小さくても住民同士が楽しめる内容になることを大切にしています。」とお話をされていました。

また、今回は行政と協力しての地域づくりを考えるきっかけになるよう那覇市まちなみ整備課と防災危機管理課職員も参加しました。受講生からは「公民館、包括支援センター、行政等が連携して地域づくりをしていることがわかった」「地域計画でも目的の方向が一緒であれば、柔軟に修正するとの考えが新鮮だった」などの感想が寄せられました。

次回、協働大学4回目は10月15日（土）で、繁多川1丁目のフィールドワークを行います。防災の視点からのフィールドワーク、どんな発見があるのか楽しみですね。



第3回の会場の様子



講師の繁多川公民館 南館長と地域包括支援センター繁多川の濱川所長



講師のまちなみ整備課：加島鈴乃さんと防災危機管理課：源河北斗さん



講師の繁多川公民館 底原春香さん



令和4年度なは市民協働大学（3回目） アンケート集計表

2022年9月21日実施

問1 本講座で繁多川地域における協働の取り組み（密集市街地における防災・福祉）を学べましたか。

評価	できた	少しできた	あまりできなかった	全くできなかった	15
人数	13	2	0	0	

問2 本日の講座の満足度を教えてください。

評価	満足	やや満足	やや不満	不満	15
人数	14	1	0	0	

【受講生の声（抜粋）】

<3回目講座を終えて>

- ニーズから計画していく。小さいアクションプラン。目標を作ってもその場で変化させていき目的の方向が異ならなければ良いなど柔軟な考え方を持っているところが、行政とは異なると感じた。
- テーマも良く、話しやすいメンバーで楽しく参加できました。
- 楽しい意見交換、グループもお話もワクワク参加できました。ありがとうございました。よかったです。
- 地域のゆるいつながりのあるひとたちの声を聞くというのが印象的でした。
- 同様の質問が複数あり、興味関心が一致するのは、皆が当事者目線で取り組んでいるからこそと感じました。
- 繁多川地域計画、連携などすばらしく地域活動へのヒントになった。ありがとうございました。



協働大学3回目 グループワーク

なは市民協働大学4回目：令和4年10月15日（土）10時～12時30分

なは市民協働大学第5回のご案内

- 1日 時：令和4年11月16日（水）19時～21時
※受付は18時30分から行います。
- 2会場：なは市民活動支援センター2階 会議室2.3
- 3内容：住民をつなぐ！地域コミュニティづくり
- 4講師：銘苅新都心自治会 前原 信達 会長
松島自治会 西平 博人 会長



<お問合せ> 担当：小波津 與那覇 渡嘉敷

電話：098-861-502 メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp